

## 令和4年度 新規採択時評価の実施状況

(砂防課)

事業名	箇所・地区名等	所在市町	事業費 (百万円)	費用対効果	備考
通常砂防	高馬下沢	下田市	110	10.47	
通常砂防	荒神沢	島田市	140	38.61	
通常砂防	身成井戸沢	島田市	200	7.29	
通常砂防	下小野中沢	南伊豆町	140	16.91	
通常砂防	下小野西沢	南伊豆町	120	2.23	
通常砂防	谷戸山沢	南伊豆町	100	13.40	
通常砂防	釜ノ沢	島田市	130	9.18	
通常砂防	原沢	川根本町	200	4.37	
通常砂防	上尾奈谷床沢	浜松市	190	2.15	
火山砂防	赤沢右支川	伊東市	300	8.67	
火山砂防	釜ヶ洞沢	伊豆市	300	9.32	
火山砂防	半経寺沢 A	伊豆市	256	28.58	
火山砂防	毘沙門川	伊豆の国市	400	7.01	
火山砂防	清水川第1支川	富士宮市	300	5.92	
火山砂防	西浜沢	伊豆市	120	2.55	
急傾斜地崩壊対策	熊坂 No. 2	伊豆市	207	8.1	
急傾斜地崩壊対策	羽鮒横林	富士宮市	200	15.4	
急傾斜地崩壊対策	新間和田 A	静岡市	200	21.1	
急傾斜地崩壊対策	谷下	浜松市	350	6.3	
急傾斜地崩壊対策	船明上塚	浜松市	350	3.5	

令和 4 年度 新規事業箇所調査

(砂防課)

事業名	高馬下沢防災・安全交付金（通常砂防）事業		
河川・路線・施設名等	高馬下沢	所在市町	下田市
事業費	110 百万円	事業期間	R 3 ~ R 7
<b>事業概要、目的</b> 高馬下沢（下田市高馬地区）は伊豆半島南部に位置し、保全対象として人家 25 戸、病院（要配慮者利用施設）、市道を含む土石流危険渓流である。 高馬下沢上流では溪床に不安定土砂が厚く堆積しており、土石流による甚大な被害が懸念される。このため、砂防堰堤を整備し、土砂災害を未然に防止する。			
費用対効果(B/C)	10.47	総費用	117
		総便益	1,230
		基準年	R 3
<b>費用対効果分析の手法</b> 「土石流対策事業の費用便益分析マニュアル（案）」(R3.1) による。			
<b>評価指標、項目</b> <災害発生時の影響> 人家、クリニック（H24 時間入居要配慮者利用施設）等に被害を及ぼす恐れがある。 <過去の災害履歴> なし <災害発生の危険度> 渓流の荒廃状況や土質等の調査結果より、不安定土砂が厚く堆積しているため、災害発生の危険性は高い。			
<b>事業概要図</b>			
位置図 	流域概要図  <p>流域面積(A=0.05km<sup>2</sup>) 警戒区域指定日:H20.3.21</p>	荒廃状況 	保全対象  <p>下田循環器・腎臓クリニック</p>

## 令和 4 年度 新規事業箇所調査

(砂防課)

事業名	荒神沢防災・安全交付金（通常砂防）事業						
河川・路線・施設名等	荒神沢			所在市町	島田市		
事業費	140 百万円			事業期間	R 3 ~ R 8		
事業概要、目的							
<p>荒神沢（島田市相賀地区）は静岡県中部に位置し、保全対象として人家 27 戸、浄水場（ライフライン）、県道焼津森線を含む土石流危険渓流である。</p> <p>荒神沢上流では溪床に不安定土砂が厚く堆積し、土石流による甚大な被害が懸念される。このため、砂防堰堤を整備し、土砂災害を未然に防止する。</p>							
費用対効果(B/C)	38.61	総費用	191	総便益	7,371	基準年	R 3
費用対効果分析の手法							
「土石流対策事業の費用便益分析マニュアル（案）」(R3.1) による。							
評価指標、項目							
＜災害発生時の影響＞		人家、県道、市道、浄水場（ライフライン）、公会堂等に被害を及ぼす恐れがある。					
＜過去の災害履歴＞		なし					
＜災害発生の危険度＞		渓流の荒廃状況や土質等の調査結果より、不安定土砂が厚く堆積しているため、災害発生の危険性は高い。					
事業概要図							
位置図		流域概要図					
							
荒廃状況		保全対象					
		 					
		静岡県相賀浄水場			向田公会堂		

令和 4 年度 新規事業箇所調査

(砂防課)

事業名	身成井戸沢防災・安全交付金（通常砂防）事業						
河川・路線・施設名等	身成井戸沢			所在市町	島田市		
事業費	200 百万円			事業期間	R 3 ~ R 8		
事業概要、目的							
<p>身成井戸沢（島田市身成地区）は静岡県中部に位置し、保全対象として人家 15 戸、消防署出張所、集会所、県道藤枝天竜線（第 2 次緊急輸送路）、市道を含む土石流危険渓流である。</p> <p>身成井戸沢上流では溪床に不安定土砂が厚く堆積しており、土石流による甚大な被害が懸念される。このため、砂防堰堤を整備し、土砂災害を未然に防止する。</p>							
費用対効果(B/C)	7.29	総費用	192	総便益	1,399	基準年	R 3
費用対効果分析の手法							
「土石流対策事業の費用便益分析マニュアル（案）」(R3.1) による。							
評価指標、項目							
＜災害発生時の影響＞		人家、県道（第 2 次緊急輸送道路）、消防署（出張所）、集会所等に被害を及ぼす恐れがある。					
＜過去の災害履歴＞		なし					
＜災害発生の危険度＞		渓流の荒廃状況や土質等の調査結果より、不安定土砂が厚く堆積しているため、災害発生の危険性は高い。					
事業概要図							
<p>位置図</p>  <p>井戸沢・通常砂防事業</p>		<p>流域概要図</p>  <p>流域面積 A=0.07km<sup>2</sup></p> <p>保全人家 15 戸</p> <p>消防署</p> <p>(北)藤枝天竜線</p> <p>島田消防署川根南出張所</p>					
<p>荒廃状況</p> 		<p>保全対象</p>  <p>県道藤枝天竜線</p> <p>島田消防署川根南出張所</p>					

## 令和 4 年度 新規事業箇所調査

(砂防課)

事業名	下小野中沢防災・安全交付金（通常砂防）事業		
河川・路線・施設名等	下小野中沢	所在市町	南伊豆町
事業費	140 百万円	事業期間	R 3 ~ R 7
事業概要、目的			
<p>下小野中沢（南伊豆町下小野地区）は伊豆半島南部に位置し、保全対象として人家 17 戸、南上小学校、町道を含む土石流危険渓流である。</p> <p>下小野中沢上流では溪床に不安定土砂が厚く堆積しており、土石流による甚大な被害が懸念される。このため、砂防堰堤を整備し、土砂災害を未然に防止する。</p>			
費用対効果(B/C)	16.91	総費用	124
		総便益	2,100
		基準年	R 3
費用対効果分析の手法			
「土石流対策事業の費用便益分析マニュアル（案）」(R3.1) による。			
評価指標、項目			
<災害発生時の影響>	人家、小学校、町道等に被害を及ぼす恐れがある。		
<過去の災害履歴>	なし		
<災害発生の危険度>	渓流の荒廃状況や土質等の調査結果より、不安定土砂が厚く堆積しているため、災害発生の危険性は高い。		
事業概要図			
 <p>位置図</p> <p>下小野中沢砂防事業</p>	 <p>流域概要図</p> <p>南上小学校</p> <p>保全人家 17戸</p> <p>堰堤計画地</p> <p>町道</p> <p>下小野中沢土石流危険渓流 (A=0.062km<sup>2</sup>)</p>		
 <p>荒廃状況</p>	 <p>保全対象</p> <p>南上小学校</p> <p>町道</p>		

令和 4 年度 新規事業箇所調査

(砂防課)

事業名	下小野西沢防災・安全交付金（通常砂防）事業		
河川・路線・施設名等	下小野西沢	所在市町	南伊豆町
事業費	120 百万円	事業期間	R 3 ~ R 7
<b>事業概要、目的</b> 下小野西沢（南伊豆町下小野地区）は伊豆半島南部に位置し、保全対象として人家 4 戸、県道南伊豆松崎線、町道を含む土石流危険渓流である。 下小野西沢上流では溪床に不安定土砂が厚く堆積しており、土石流による甚大な被害が懸念される。このため、砂防堰堤を整備し、土砂災害を未然に防止する。			
費用対効果 (B/C)	2.23	総費用	117
		総便益	262
		基準年	R 3
<b>費用対効果分析の手法</b> 「土石流対策事業の費用便益分析マニュアル（案）」(R3.1) による。			
<b>評価指標、項目</b> <災害発生時の影響> 人家、県道、町道等に被害を及ぼす恐れがある。 <過去の災害履歴> なし <災害発生の危険度> 渓流の荒廃状況や土質等の調査結果より、不安定土砂が厚く堆積しているため、災害発生の危険性は高い。			
<b>事業概要図</b>			
位置図  下小野西沢砂防事業	流域概要図  堰堤計画地 保全人家 4戸 下小野西沢土石流危険渓流 (A=0.1km <sup>2</sup> ) (一)南伊豆松崎線 町道		
荒廃状況 	保全対象  堰堤位置 至 松崎 ← (一)南伊豆松崎線 至 下田 →		

## 令和 4 年度 新規事業箇所調査

(砂防課)

事業名	谷戸山沢防災・安全交付金（通常砂防）事業		
河川・路線・施設名等	谷戸山沢	所在市町	南伊豆町
事業費	100 百万円	事業期間	R 3 ~ R 5
事業概要、目的			
<p>谷戸山沢（南伊豆町加納地区）は伊豆半島南部に位置し、保全対象として人家 34 戸、町道を含む土石流危険渓流である。</p> <p>谷戸山沢上流では、溪床に不安定土砂が厚く堆積しており、土石流による甚大な被害が懸念される。このため、砂防堰堤を整備し、土砂災害を未然に防止する。</p>			
費用対効果(B/C)	13.40	総費用	103
		総便益	1,387
		基準年	R 3
費用対効果分析の手法			
「土石流対策事業の費用便益分析マニュアル（案）」(R3.1) による。			
評価指標、項目			
<p>&lt;災害発生時の影響&gt; 人家、町道等に被害を及ぼす恐れがある。</p> <p>&lt;過去の災害履歴&gt; なし</p> <p>&lt;災害発生の危険度&gt; 渓流の荒廃状況や土質等の調査結果より、不安定土砂が厚く堆積しているため、災害発生の危険性は高い。</p>			
事業概要図			
 <p>位置図</p> <p>谷戸山沢砂防事業</p>	 <p>流域概要図</p> <p>保全人家 34戸</p> <p>堰堤計画地</p> <p>流域面積 (A=0.08km<sup>2</sup>)</p> <p>警戒区域指定日: H27.3.31</p> <p>町道</p>		
 <p>荒廃状況</p>	 <p>保全対象</p> <p>町道</p> <p>保全人家</p>		

令和 4 年度 新規事業箇所調査

(砂防課)

事業名	釜ノ沢防災・安全交付金（通常砂防）事業		
河川・路線・施設名等	釜ノ沢	所在市町	島田市
事業費	130 百万円	事業期間	R 3 ~ R 7
<b>事業概要、目的</b> 釜ノ沢（島田市大賀地区）は静岡県中部に位置し、保全対象として人家 21 戸、向田公会堂、県道焼津森線、市道を含む土石流危険渓流である。 釜ノ沢上流では溪床に不安定土砂が厚く堆積しており、土石流による甚大な被害が懸念される。このため、砂防堰堤を整備し、土砂災害を未然に防止する。			
費用対効果 (B/C)	9.18	総費用	191
		総便益	1,752
		基準年	R 3
<b>費用対効果分析の手法</b> 「土石流対策事業の費用便益分析マニュアル（案）」(R3.1) による。			
<b>評価指標、項目</b> <災害発生時の影響> 人家、公会堂、県道、市道等に被害を及ぼす恐れがある。 <過去の災害履歴> なし <災害発生の危険度> 渓流の荒廃状況や土質等の調査結果より、不安定土砂が厚く堆積しているため、災害発生の危険性は高い。			
<b>事業概要図</b>			
位置図 	流域概要図 		
荒廃状況 	保全対象 		
荒廃状況 	県道焼津森線 向田公会堂		



令和 4 年度 新規事業箇所調査書

(砂防課)

事業名	原沢防災・安全交付金（通常砂防）事業		
河川・路線・施設名等	原沢	所在市町	川根本町
事業費	200 百万円	事業期間	R 3 ~ R 8
<b>事業概要、目的</b> 原沢（川根本町田野口地区）は静岡県中部に位置し、保全対象として人家 17 戸、県道川根寸又峡線、町道、私鉄大井川鐵道を含む土石流危険渓流である。 原沢上流では溪床に不安定土砂が厚く堆積しており、土石流による甚大な被害が懸念される。このため、砂防堰堤を整備し、土砂災害を未然に防止する。			
費用対効果 (B/C)	4.37	総費用	192
		総便益	840
		基準年	R 3
<b>費用対効果分析の手法</b> 「土石流対策事業の費用便益分析マニュアル（案）」(R3.1) による。			
<b>評価指標、項目</b> <災害発生時の影響> 人家、鉄道（大井川鐵道）、県道、町道等に被害を及ぼす恐れがある。 <過去の災害履歴> なし <災害発生の危険度> 渓流の荒廃状況や土質等の調査結果より、不安定土砂が厚く堆積しているため、災害発生の危険性は高い。			
<b>事業概要図</b>			
位置図 	流域概要図 		
荒廃状況 	保全対象 		

## 令和4年度 新規事業箇所調査

(砂防課)

事業名	上尾奈谷床沢防災・安全交付金（通常砂防）事業		
河川・路線・施設名等	上尾奈谷床沢	所在市町	浜松市
事業費	190 百万円	事業期間	R3 ~ R7
事業概要、目的			
<p>浜松市北区三ヶ日町上尾奈地区は静岡県西部に位置し、保全対象として人家8戸および市道三ヶ日尾奈日比沢線を含む土石流危険渓流である。上尾奈谷床沢下流では、山腹崩壊が発生しており、渓床には不安定土砂が厚く堆積、土石流による甚大な被害が懸念される。このため、砂防堰堤を整備し、土砂災害を未然に防止する。</p>			
費用対効果(B/C)	2.15	総費用	193
		総便益	414
		基準年	R3
費用対効果分析の手法			
「土石流対策事業の費用便益分析マニュアル（案）」(R3.1)による。			
評価指標、項目			
<災害発生時の影響>	人家、市道等に被害を及ぼす恐れがある。		
<過去の災害履歴>	なし		
<災害発生の危険度>	渓流の荒廃状況や土質等の調査結果より、不安定土砂が厚く堆積しているため、災害発生の危険性は高い。		
事業概要図			
<div data-bbox="300 1122 644 1368"> <p>位置図</p> <p>上尾奈谷床沢砂防事業</p>  </div>	<div data-bbox="660 1122 1366 1641"> <p>流域概要図</p> <p>流域面積A=0.11km<sup>2</sup></p>  <p>砂防堰堤計画位置</p> <p>市道三ヶ日尾奈日比沢線</p> <p>二級河川西神田川</p> </div>		
<div data-bbox="300 1384 644 1688"> <p>荒廃状況</p>  </div>	<div data-bbox="660 1659 1366 2018"> <p>保全対象</p>  <p>人家</p>  <p>市道三ヶ日尾奈日比沢線</p> </div>		

## 令和4年度 新規事業箇所調査

(砂防課)

事業名	赤沢右支川防災・安全交付金（火山砂防）事業						
河川・路線・施設名等	赤沢右支川			所在市町	伊東市		
事業費	300 百万円			事業期間	R 3 ~ R 7		
事業概要、目的							
<p>赤沢右支川（伊東市赤沢地区）は伊豆半島東部に位置し、保全対象として人家 46 戸、生涯学習センター赤沢会館（避難所）、（国）135 号（第 1 次緊急輸送路）、市道、私鉄伊豆急行線を含む土石流危険渓流である。</p> <p>赤沢右支川上流では溪床に不安定な転石が見られ、土石流による甚大な被害が懸念される。このため、砂防堰堤を整備し、土砂災害を未然に防止する。</p>							
費用対効果(B/C)	8.67	総費用	292	総便益	2,530	基準年	R 3
費用対効果分析の手法							
「土石流対策事業の費用便益分析マニュアル（案）」(R3.1)による。							
評価指標、項目							
＜災害発生時の影響＞		人家、生涯学習センター、消防団詰所、国道（第 1 次緊急輸送路）、市道、私鉄等に被害を及ぼす恐れがある。					
＜過去の災害履歴＞		なし					
＜災害発生の危険度＞		渓流の荒廃状況や土質等の調査結果より、不安定土砂が厚く堆積しているため、災害発生の危険性は高い。					
事業概要図							
 <p>位置図</p>		 <p>流域概要図</p>					
 <p>荒廃状況</p>		 <p>保全対象</p>					

令和 4 年度 新規事業箇所調査

(砂防課)

事業名	釜ヶ洞沢防災・安全交付金（火山砂防）事業		
河川・路線・施設名等	釜ヶ洞沢	所在市町	伊豆市
事業費	300 百万円	事業期間	R 3 ~ R 8
<b>事業概要、目的</b> 釜ヶ洞沢（伊豆市土肥）は伊豆半島西部に位置し、保全対象として人家 64 戸、公民館 1 棟、消防団詰所、旅館 6 棟、県道（第 2 次緊急輸送路）を含む土石流危険渓流である。 釜ヶ洞沢上流では溪床に不安定土砂が厚く堆積しており、土石流による甚大な被害が懸念される。このため、砂防堰堤を整備し、土砂災害を未然に防止する。			
費用対効果 (B/C)	9.32	総費用	286
		総便益	2,664
		基準年	R 3
<b>費用対効果分析の手法</b> 「土石流対策事業の費用便益分析マニュアル（案）」(R3.1) による。			
<b>評価指標、項目</b> <災害発生時の影響> 人家、公民館、消防団詰所、旅館、県道（第 2 次緊急輸送路）等に被害を及ぼす恐れがある。 <過去の災害履歴> なし <災害発生の危険度> 渓流の荒廃状況や土質等の調査結果より、不安定土砂が厚く堆積しているため、災害発生の危険性は高い。			
<b>事業概要図</b>			
			
	<b>保全対象</b> 		
	保全人家等(旅館)                      中浜コミュニティセンター		

令和 4 年度 新規事業箇所調査

(砂防課)

事業名	半経寺沢 A 防災・安全交付金（火山砂防）事業		
河川・路線・施設名等	半経寺沢 A	所在市町	伊豆市
事業費	256 百万円	事業期間	R 3 ~ R 9

事業概要、目的

半経寺沢 A（伊豆市修善寺地区）は伊豆半島中央部に位置し、保全対象として人家 172 戸、総合会館（避難場所）、県道修善寺戸田線（第 2 次緊急輸送路）を含む土石流危険渓流である。

半経寺沢 A 上流には不安定土砂が厚く堆積しており、土石流による甚大な被害が懸念される。このため、砂防堰堤を整備し、土砂災害を未然に防止する。

費用対効果 (B/C)	28.58	総費用	239	総便益	6,843	基準年	R 3
-------------	-------	-----	-----	-----	-------	-----	-----

費用対効果分析の手法

「土石流対策事業の費用便益分析マニュアル（案）」(R3.1) による。

評価指標、項目

<災害発生時の影響> 人家、総合会館、県道（第 2 次緊急輸送路）、市道等に被害を及ぼす恐れがある。

<過去の災害履歴> なし

<災害発生の危険度> 渓流の荒廃状況や土質等の調査結果より、不安定土砂が厚く堆積しているため、災害発生の危険性は高い。

事業概要図



位置図



流域概要図



荒廃状況



既設谷止工



保全対象

令和 4 年度 新規事業箇所調査

(砂防課)

事業名	昆沙門川防災・安全交付金（火山砂防）事業		
河川・路線・施設名等	昆沙門川	所在市町	伊豆の国市
事業費	400 百万円	事業期間	R 3 ~ R 8

事業概要、目的

昆沙門川（伊豆の国市奈古谷地区）は伊豆半島中央部に位置し、保全対象として人家 67 戸、簡易水道施設、市道を含む土石流危険渓流である。

昆沙門川上流では、溪床に不安定土砂が厚く堆積しており、土石流による甚大な被害が懸念される。このため、砂防堰堤を整備し、土砂災害を未然に防止する。

費用対効果 (B/C)	7.01	総費用	381	総便益	2,669	基準年	R 3
-------------	------	-----	-----	-----	-------	-----	-----

費用対効果分析の手法

「土石流対策事業の費用便益分析マニュアル（案）」(R3.1) による。

評価指標、項目

- <災害発生時の影響> 人家、簡易水道、市道等に被害を及ぼす恐れがある。
- <過去の災害履歴> なし
- <災害発生の危険度> 渓流の荒廃状況や土質等の調査結果より、不安定土砂が厚く堆積しているため、災害発生の危険性は高い。

事業概要図



荒廃状況



流域概要図



保全対象




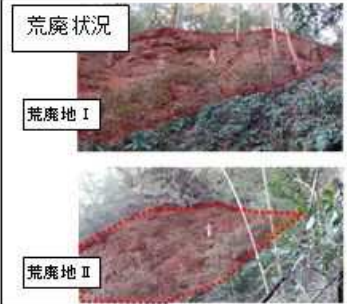

保全人家(50戸以上)



樋倉簡易水道

令和 4 年度 新規事業箇所調査書

(砂防課)

事業名	清水川第 1 支川防災・安全交付金（火山砂防）事業		
河川・路線・施設名等	清水川第 1 支川	所在市町	富士宮市
事業費	300 百万円	事業期間	R 3 ~ R 8
<b>事業概要、目的</b> 清水川第 1 支川（富士宮市大中里地区）は静岡県東部に位置し、保全対象として人家 43 戸、配水池（ライフライン）、県道三沢富士宮線を含む土石流危険渓流である。 清水川第 1 支川上流では溪床に不安定土砂が厚く堆積し、土石流による甚大な被害が懸念される。このため、砂防堰堤を整備し、土砂災害を未然に防止する。			
費用対効果 (B/C)	5.92	総費用	286
		総便益	1,692
		基準年	R 3
<b>費用対効果分析の手法</b> 「土石流対策事業の費用便益分析マニュアル（案）」(R3.1) による。			
<b>評価指標、項目</b> <災害発生時の影響> 人家、配水池（ライフライン）、県道、市道等に被害を及ぼす恐れがある。 <過去の災害履歴> なし <災害発生の危険度> 渓流の荒廃状況や土質等の調査結果より、不安定土砂が厚く堆積しているため、災害発生の危険性は高い。			
<b>事業概要図</b>			
 <p>位置図</p>		 <p>流域概要図</p>	
 <p>荒廃状況</p> <p>荒廃地 I</p> <p>荒廃地 II</p>		 <p>保全対象</p> <p>大中里第一配水池</p> <p>県道三沢富士宮線</p>	

令和 4 年度 新規事業箇所調査

(砂防課)

事業名	西浜沢防災・安全交付金（火山砂防）事業		
河川・路線・施設名等	西浜沢	所在市町	伊豆市
事業費	120 百万円	事業期間	R 3 ~ R 8
<b>事業概要、目的</b> 西浜沢（伊豆市八木沢地区）は伊豆半島西部に位置し、保全対象として人家 4 戸、丸山スポーツ公園、国道 136 号（第 1 次緊急輸送路）、市道を含む土石流危険渓流である。 西浜沢上流では溪床に不安定土砂が厚く堆積しており、土石流による甚大な被害が懸念される。このため、砂防堰堤を整備し、土砂災害を未然に防止する。			
費用対効果 (B/C)	2.55	総費用	116
		総便益	296
		基準年	R 3
<b>費用対効果分析の手法</b> 「土石流対策事業の費用便益分析マニュアル（案）」(R3.1) による。			
<b>評価指標、項目</b> <災害発生時の影響> 人家、スポーツ公園、国道（第 1 次緊急輸送路）、市道等に被害を及ぼす恐れがある。 <過去の災害履歴> なし <災害発生の危険度> 渓流の荒廃状況や土質等の調査結果より、不安定土砂が厚く堆積しているため、災害発生の危険性は高い。			
<b>事業概要図</b>			
			
		<b>保全対象</b> 	
		保全人家 国道 136 号	



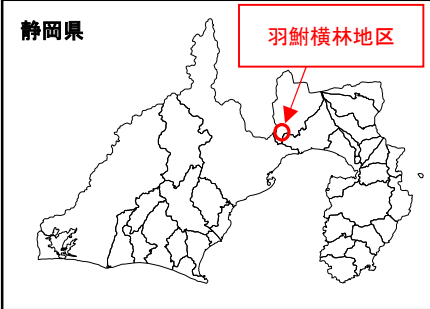
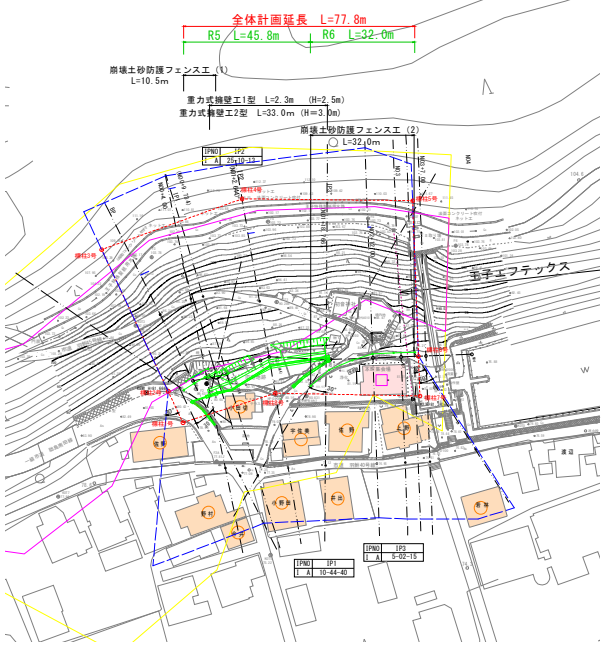

## 令和4年度 新規事業箇所調査書

(砂防課)

事業名	熊坂 No. 2 防災・安全交付金（急傾斜）事業		
河川・路線・施設名等	熊坂 No. 2	所在市町	伊豆市
事業費	207 百万円	事業期間	R3～R8
事業概要、目的			
<p>熊坂 No. 2 地区は、静岡県伊豆市北部に位置し、保全対象として人家 12 戸を含む急傾斜地である。</p> <p>伊豆市内には急傾斜地の土砂災害警戒区域が 590 箇所と集中しており、特に当該地区周辺の斜面は、斜面の荒廃の進行が進行し、豪雨等による斜面崩壊の危険性が高く、早急に崩壊防止対策を実施する必要がある。</p>			
費用対効果(B/C)	8.1	総費用	1,082
		総便益	133
		基準年	R3
費用対効果分析の手法			
「急傾斜地崩壊対策事業の費用便益分析マニュアル（案）」国土交通省砂防部 R3 による			
評価指標、項目			
<p>&lt;災害発生時の影響&gt; 人家 12 戸などに被害を及ぼすおそれがある。</p> <p>&lt;過去の災害履歴&gt; なし</p> <p>&lt;災害発生の危険度&gt; 保全対象と斜面形状、崩壊の危険性の調査結果により、斜面の荒廃が進行し災害発生の危険性が高い。</p>			
事業概要図			
			
<p>全体計画 L=160m</p>		<p>全体計画 L=160m</p>	
<p>平面図</p>			

令和 4 年度 新規事業箇所調査

(砂防課)

事業名	羽鮒横林防災・安全交付金（急傾斜）事業		
河川・路線・施設名等	羽鮒横林	所在市町	富士宮市
事業費	200 百万円	事業期間	R 3～R 6
<b>事業概要、目的</b> 羽鮒横林地区は、静岡県富士宮市南部に位置し、保全対象として人家 10 戸、集会場 1 棟を含む急傾斜地である。 富士宮市内には急傾斜地の崩壊による土砂災害（特別）警戒区域が 252（249）箇所と集中しており、特に当該地区周辺の斜面は、斜面の荒廃の進行が進行し、豪雨等による斜面崩壊の危険性が高く、早急に崩壊防止対策を実施する必要がある。			
費用対効果(B/C)	15.4	総費用	1,022
		総便益	66
		基準年	R 3
<b>費用対効果分析の手法</b> 「急傾斜地崩壊対策事業の費用便益分析マニュアル（案）」国土交通省砂防部 R3 による			
<b>評価指標、項目</b> <災害発生時の影響> 人家 10 戸などに被害を及ぼすおそれがある。 <過去の災害履歴> なし <災害発生の危険度> 保全対象と斜面形状、崩壊の危険性の調査結果により、斜面の荒廃が進行し災害発生の危険性が高い。			
<b>事業概要図</b>			
  			

令和 4 年度 新規事業箇所調査

(砂防課)

事業名	新間和田 A 防災・安全交付金（急傾斜）事業		
河川・路線・施設名等	新間和田 A	所在市町	静岡市
事業費	200 百万円	事業期間	R 3 ~ R 9

事業概要、目的

新間和田 A 地区は、静岡県静岡市葵区北部に位置し、保全対象として人家 14 戸、要配慮者利用施設である杉の子幼稚園（定員数：130 人）を含む急傾斜地である。

静岡市内には急傾斜地崩壊危険箇所が 1,783 地区と集中しており、特に当該地区周辺の斜面は、斜面の荒廃の進行が進行し、豪雨等による斜面崩壊の危険性が高く、早急に崩壊防止対策を実施する必要がある。

費用対効果 (B/C)	21.1	総費用	3,826	総便益	181	基準年	R 3
-------------	------	-----	-------	-----	-----	-----	-----

費用対効果分析の手法

「急傾斜地崩壊対策事業の費用便益分析マニュアル（案）」国土交通省砂防部 R3 による

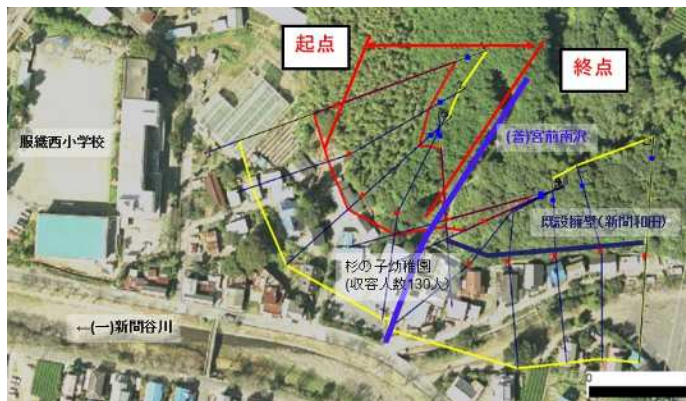
評価指標、項目

<災害発生時の影響> 要配慮者利用施設などに被害を及ぼすおそれがある。

<過去の災害履歴> なし

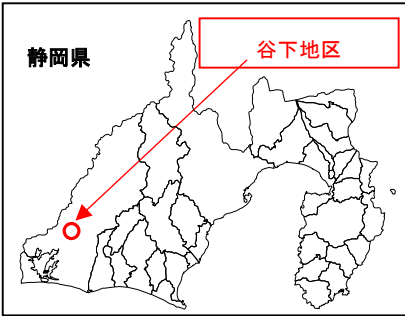
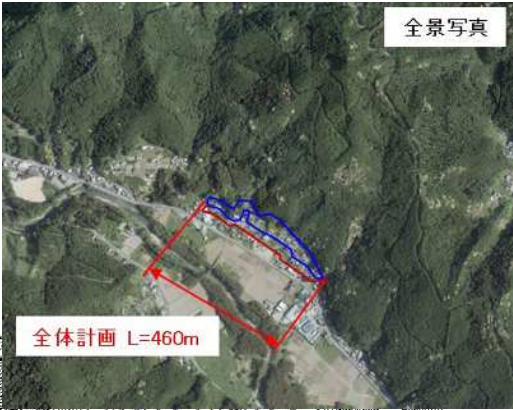
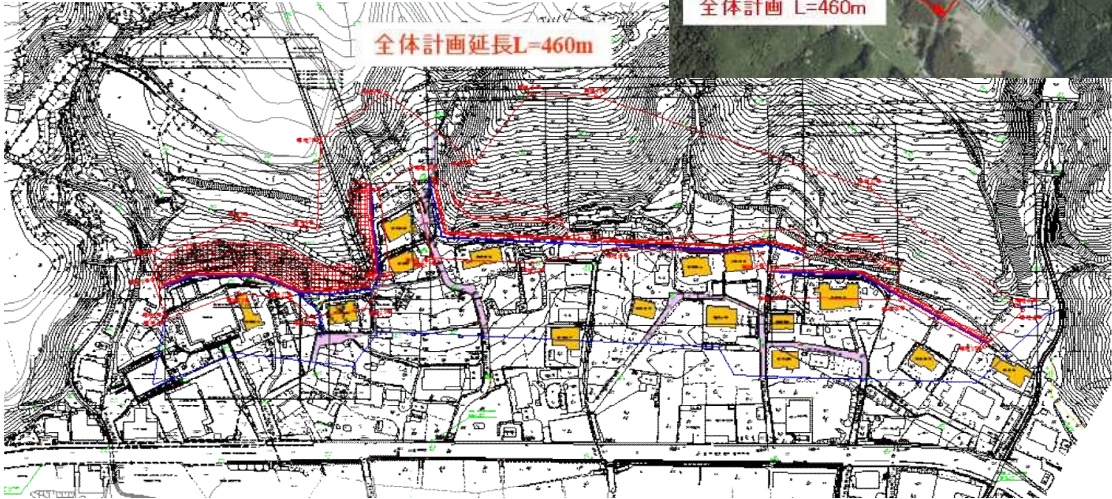
<災害発生時の危険度> 保全対象と斜面形状、崩壊の危険性の調査結果により、斜面の荒廃が進行し災害発生時の危険性が高い。

事業概要図



## 令和 4 年度 新規事業箇所調査

(砂防課)

事業名	谷下防災・安全交付金（急傾斜）事業						
河川・路線・施設名等	谷下			所在市町	浜松市		
事業費	350 百万円			事業期間	R3～R9		
事業概要、目的							
<p>谷下地区は静岡県浜松市天竜区に位置し、保全対象として人家 15 戸がある急傾斜地である。</p> <p>豪雨時や大規模地震等によるがけ崩れ発生時には、周辺地域一体に甚大な影響を及ぼすことが想定され、地形が急峻で地質が脆弱な当該箇所は早急に崩壊防止対策を実施する必要がある。</p>							
費用対効果 (B/C)	6.3	総費用	1,913	総便益	302	基準年	R3
費用対効果分析の手法							
「急傾斜地崩壊対策事業の費用便益分析マニュアル（案）」国土交通省砂防部 R3 による							
評価指標、項目							
<p>&lt;災害発生時の影響&gt; 人家 15 戸などに被害を及ぼすおそれがある。</p> <p>&lt;過去の災害履歴&gt; なし</p> <p>&lt;災害発生時の危険度&gt; 保全対象と斜面形状、崩壊の危険性の調査結果により、斜面の荒廃が進行し災害発生時の危険性が高い。</p>							
事業概要図							
 <p>静岡県</p> <p>谷下地区</p>		 <p>全景写真</p> <p>全体計画 L=460m</p>					
 <p>全体計画延長L=460m</p>							

令和 4 年度 新規事業箇所調査

(砂防課)

事業名	船明上塚防災・安全交付金（急傾斜）事業						
河川・路線・施設名等	船明上塚			所在市町	浜松市		
事業費	350 百万円			事業期間	R 3～R 9		
<b>事業概要、目的</b> 船明上塚地区は、静岡県浜松天竜区に位置し、保全対象として人家 16 戸、市道天竜船明山下線を含む急傾斜地である。 豪雨時や大規模地震等によるがけ崩れ発生時には周辺地域一体に甚大な影響を及ぼすことが想定される当該箇所は、早期に崩壊防止対策を実施する必要がある。							
費用対効果 (B/C)	3.5	総費用	1,027	総便益	292	基準年	R 3
<b>費用対効果分析の手法</b> 「急傾斜地崩壊対策事業の費用便益分析マニュアル（案）」国土交通省砂防部 R3 による							
<b>評価指標、項目</b> <災害発生時の影響> 人家 16 戸などに被害を及ぼすおそれがある。 <過去の災害履歴> なし <災害発生の危険度> 保全対象と斜面形状、崩壊の危険性の調査結果により、斜面の荒廃が進行し災害発生の危険性が高い。							
<b>事業概要図</b>							
